

平成30年度国土交通省大臣官房官庁営繕部
コンプライアンス・アドバイザー委員会委員名簿

委員長 深尾 精一 首都大学東京名誉教授

委員長代理 大橋 弘 東京大学大学院経済学研究科教授

委員 岩島 秀樹 弁護士（大地法律事務所）

委員 丹羽 秀夫 公認会計士・税理士

委員 野城 智也 東京大学生産技術研究所教授

※委員は50音順

平成30年度第1回国土交通省大臣官房官庁営繕部 コンプライアンス・アドバイザー委員会 議事概要

開催日 平成30年7月27日（金）

場 所 中央合同庁舎第2号館 官庁営繕部会議室

出席委員 深尾委員長、大橋委員長代理、岩島委員、丹羽委員

議 題 平成29年度国土交通省大臣官房官庁営繕部コンプライアンス報告書について

委員からの意見

- ・ 若手職員が官庁営繕部の取組みについて興味や関心をもってもらえるよう、メルマガの配信やグッドプラクティスの表彰などを今後も継続して実施していくことが大切である。これらの取組みに対する若手職員の反応を探る仕組みを取り入れてみると興味深い。
- ・ 今後のコンプライアンスに関する取組みを充実させていくため、現在実施している全職員向けのアンケートや外部講師による研修後のアンケートのほかに、職員を講師とする内部研修でもアンケートを実施してはどうか。
- ・ コンプライアンスは、法令順守よりも広い概念なので、職員が単に法令のみを守れば良いと認識しないようにしていくことが大切である。
- ・ 研修や表彰等は、若手職員への知識の伝承に有意義な取組みであり、若手職員をしっかりと評価することによってプロ意識を高めてあげることとなり、自然とコンプライアンス意識の向上につながる。
- ・ 研修は一方向的に実施するのではなく、参加型も有益ではないか。特に若手職員に積極的に参加してもらえるように工夫してはどうか。
- ・ 幹部職員によるコンプライアンス違反は、社会的に大きな問題となっているので、コンプライアンスの重要性について再認識してもらうためにも、幹部職員を対象とした研修を実施してはどうか。